



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月5日

上場会社名 株式会社 フジインコーポレーテッド

上場取引所 東 名

コード番号 5384 URL <http://www.fujimiinc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 敬史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 鈴木 彰 TEL 052-503-8181

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,884	△1.5	2,863	1.8	2,974	△2.7	2,212	△5.5
2019年3月期第2四半期	19,163	10.0	2,813	22.9	3,056	35.8	2,339	42.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,722百万円 (△37.0%) 2019年3月期第2四半期 2,736百万円 (42.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	89.74	—
2019年3月期第2四半期	94.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	59,245	50,969	86.0	2,061.84
2019年3月期	57,848	50,231	86.8	2,037.96

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 50,969百万円 2019年3月期 50,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	47.00	87.00
2020年3月期	—	40.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	0.3	4,700	△11.5	4,800	△14.8	3,600	△15.6	145.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	28,699,500株	2019年3月期	28,699,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,979,269株	2019年3月期	4,051,458株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	24,650,345株	2019年3月期2Q	24,648,175株

(注) 当社は、業績連動型株式報酬制度 株式給付信託（BBT）及び株式給付信託（J-E SOP）を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く環境は、世界各国において政治・政策面での先行き不透明感がある中で、米国では緩やかながら景気拡大が持続しました。一方、日本・欧州では景気の足踏み感が強まり、中国では貿易摩擦の影響を受け景気は減速傾向にありました。また、世界半導体市場は、ロジックデバイスでは最先端製品の生産が本格化しつつあるものの、メモリデバイスでは需要減退による稼働調整局面が続き、シリコンウェハー市場も軟調に推移しました。

こうした状況下、当社グループでは一丸となって売上拡大とコスト削減に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,884百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益2,863百万円（前年同期比1.8%増）、経常利益2,974百万円（前年同期比2.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,212百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

日本につきましては、中国の景気減速等の影響を受け非半導体向け製品の販売は減少したものの、半導体デバイス向け製品の販売が増加したことにより、売上高は10,894百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益（営業利益）は2,699百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

北米につきましては、ロジックデバイス向けCMP製品の販売は堅調に推移しましたが、シリコンウェハー向け製品やメモリデバイス向けCMP製品の販売が減少したことから、売上高は2,930百万円（前年同期比4.9%減）、セグメント利益（営業利益）は売上減少に加え製品構成が変化したことにより、151百万円（前年同期比56.8%減）となりました。

アジアにつきましては、ハードディスク向け製品の販売は低調となりましたが、最先端ロジックデバイス向けCMP製品の販売が堅調に推移したことから、売上高は4,267百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益（営業利益）は762百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

欧州につきましては、売上高は792百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益（営業利益）は売上の減少を為替の影響が上回り112百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

主な用途別売上の実績は、次のとおりであります。

シリコンウェハー向け製品につきましては、特に小口径シリコンウェハー市場の減速により、ラッピング材の売上高は1,834百万円（前年同期比15.7%減）となりました。一方、ポリシング材につきましては、当社製品の採用が拡大したことから、売上高は4,486百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

CMP向け製品につきましては、メモリデバイス市況は停滞したものの、最先端半導体デバイス向け製品の販売が増加したことにより、売上高は8,483百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

ハードディスク向け製品につきましては、SSD（ソリッドステート・ドライブ）への置き換えによる市場の縮小及び顧客の生産プロセスの変更の影響により、売上高は1,093百万円（前年同期比14.4%減）となりました。

非半導体関連の一般工業用研磨材につきましては、中国の景気減速等の影響により需要が減少し、売上高は1,740百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ、1,396百万円増加し、59,245百万円となりました。これは、有価証券が1,200百万円減少したものの、現金及び預金が1,916百万円、原材料及び貯蔵品が546百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末に比べ、659百万円増加し、8,276百万円となりました。これは、株式給付引当金が294百万円減少したものの、流動負債のその他が623百万円、支払手形及び買掛金が235百万円、賞与引当金が78百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ、737百万円増加し、50,969百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が508百万円減少したものの、利益剰余金が1,035百万円増加し、自己株式が191百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表した予想値に変更はありません。今後、業績予想値の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、重要な子会社の異動もありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更

当社グループの一部の海外連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、IFRS第16号「リース」（以下、IFRS第16号）を適用しております。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。これにより、原則としてすべてのリースについて、使用権資産及びリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース債務に係る支払利息を計上しております。なお、四半期連結貸借対照表において、使用権資産は有形固定資産のその他に、リース債務は流動負債のその他及び固定負債のその他に含めて表示しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、有形固定資産のその他が96百万円、流動負債のその他が24百万円、固定負債のその他が73百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,852	23,768
受取手形及び売掛金	8,001	7,941
有価証券	3,500	2,299
商品及び製品	4,051	3,572
仕掛品	1,006	1,032
原材料及び貯蔵品	2,195	2,742
その他	634	531
貸倒引当金	△26	△17
流動資産合計	41,216	41,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,494	7,201
その他（純額）	6,383	7,251
有形固定資産合計	13,877	14,453
無形固定資産	400	396
投資その他の資産		
投資有価証券	1,455	1,609
繰延税金資産	777	787
その他	130	136
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	2,354	2,523
固定資産合計	16,632	17,373
資産合計	57,848	59,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,517	2,752
未払法人税等	789	686
賞与引当金	1,073	1,152
役員賞与引当金	—	53
株式給付引当金	294	—
その他	2,172	2,796
流動負債合計	6,848	7,441
固定負債		
繰延税金負債	—	1
退職給付に係る負債	701	716
株式給付引当金	15	15
その他	51	101
固定負債合計	768	835
負債合計	7,616	8,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	5,570	5,570
利益剰余金	45,031	46,067
自己株式	△5,641	△5,450
株主資本合計	49,714	50,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	145
為替換算調整勘定	436	△71
退職給付に係る調整累計額	△60	△45
その他の包括利益累計額合計	517	27
純資産合計	50,231	50,969
負債純資産合計	57,848	59,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	19,163	18,884
売上原価	11,255	10,759
売上総利益	7,908	8,124
販売費及び一般管理費	5,095	5,261
営業利益	2,813	2,863
営業外収益		
受取利息	56	61
為替差益	140	7
その他	56	50
営業外収益合計	253	119
営業外費用		
固定資産除却損	6	5
その他	3	2
営業外費用合計	9	7
経常利益	3,056	2,974
税金等調整前四半期純利益	3,056	2,974
法人税、住民税及び事業税	797	778
法人税等調整額	△79	△15
法人税等合計	717	762
四半期純利益	2,339	2,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,339	2,212

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,339	2,212
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	377	△508
退職給付に係る調整額	15	14
その他の包括利益合計	396	△489
四半期包括利益	2,736	1,722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,736	1,722

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,056	2,974
減価償却費	684	715
長期前払費用償却額	1	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4	△9
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	55	53
賞与引当金の増減額（△は減少）	△17	85
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	48	34
株式給付引当金の増減額（△は減少）	130	△294
受取利息	△56	△61
為替差損益（△は益）	△25	7
固定資産除売却損益（△は益）	4	5
売上債権の増減額（△は増加）	△581	△36
仕入債務の増減額（△は減少）	△330	335
たな卸資産の増減額（△は増加）	△594	△200
未払金の増減額（△は減少）	69	△67
その他	309	400
小計	2,759	3,942
利息及び配当金の受取額	48	83
法人税等の支払額	△682	△875
法人税等の還付額	44	74
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,170	3,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,633	△2,793
定期預金の払戻による収入	2,931	3,918
有価証券の取得による支出	—	△99
投資有価証券の取得による支出	—	△149
有形固定資産の取得による支出	△586	△766
無形固定資産の取得による支出	△101	△79
その他	1	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	20
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△951	△1,176
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△1	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△952	△1,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	152	△196
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△17	1,856
現金及び現金同等物の期首残高	23,336	22,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,319	24,415

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	10,997	3,081	4,269	814	19,163	—	19,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,540	521	119	—	4,181	△4,181	—
計	14,537	3,603	4,388	814	23,344	△4,181	19,163
セグメント利益	2,684	349	718	109	3,861	△1,048	2,813

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,048百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△925百万円及び棚卸資産の調整額△125百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	北米	アジア	欧州	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	10,894	2,930	4,267	792	18,884	—	18,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,214	432	122	—	3,769	△3,769	—
計	14,108	3,363	4,390	792	22,653	△3,769	18,884
セグメント利益	2,699	151	762	112	3,726	△862	2,863

(注) 1. セグメント利益の調整額△862百万円は、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△929百万円及び棚卸資産の調整額64百万円であります。全社費用の主なものは、当社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。